

「第〇号」なのか分かりにくいのご意見があったので、題名に番号を入れました。



羅針盤 18

伊豆市立中伊豆中学校
進路だより 第18号
令和元年9月5日発行
進路担当 山崎

高校によって授業(科目)はどれくらい違うの？

1 日体験入学では、自分の進路希望に合わせて様々な高校を見学、体験することができたと思います。立派な体育館やICT(コンピュータなど)の施設・設備に圧倒されたり、部活動にますます魅力を感じたりして、入学したいという気持ちが高まったのではないのでしょうか。

でも、高校生の本分は勉強にあります。大学や専門学校への進学、企業への就職など、その先の進路に向けていろいろな学習をしていきます。中学校での基礎学力が付いていないと高校での学習についていくのが大変になり、場合によっては進級・卒業が難しくなります。今のうちに学習習慣を身に付けて基礎学力を定着させてください。

高校によっては、パンフレットの中にその学校のカリキュラム(その教科を週に何時間学習するのかを示したグラフ)が載せられていたと思います。高校はどのような授業を行っているのでしょうか？

※本来のカリキュラムは科目が詳細に決められていますが、この図では分かりやすくまとめてあります。

< 専門学科：伊豆総合高校の例 >

総合学科 3年	9時間 必修 (国語・体育・英語)	18時間 選択科目 (自分の進路に合わせた科目を選択)	4時間 その他
---------	-------------------------	-----------------------------------	------------

工業科 3年	10時間 必修 (国語・社会・理科・体育・英語)	12時間 工業系の授業や実習	5時間 工業系の 選択	4時間 その他
--------	--------------------------------	-------------------	-------------------	------------

総合学科の3年では、進路希望に合わせて授業を選択する時間が18時間もあります。それに対して、工業科では、機械や電気、建築などの工業系の授業や実習が17時間設定されています。普通科にはない特有の科目を多く設定して、専門的な知識・技能を身に付けられるようになっています。

< 普通科：韮山高校の例 >

文系 3年	15時間 文系科目 (国語・社会)	9時間 理系科目 (数学・理科)	6時間 英語	3時間 その他
-------	-------------------------	------------------------	-----------	------------

理系 3年	10時間 文系科目 (国語・社会)	14時間 理系科目 (数学・理科)	6時間 英語	3時間 その他
-------	-------------------------	-------------------------	-----------	------------

普通科の高校は、主に大学や専門学校への進学を希望する生徒がほとんどなので、大学入試に必要なカリキュラムになっています。韮山高校の3年生では、**5教科(国社数理英)の授業が週30時間行われます。**大学受験に合わせて文系・理系に分かれて学習するので、授業は異なります。また、私立高校の普通科は、コースによって大きく変わります。

自分の興味・関心に合っていたり、得意分野を生かしたりすることができるかどうか？このように、パンフレットに載っているカリキュラムも高校選びのポイントになりますね。1・2年生も今後の参考にしてください。

♪進路は続くよ どこまでも♪

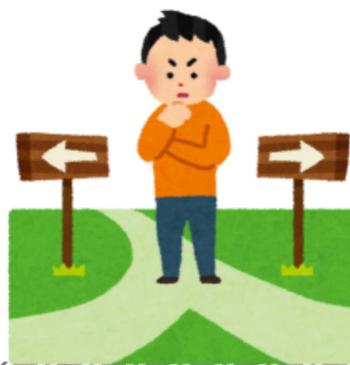
第2回進路希望調査の提出ありがとうございました。これから、12月の三者面談に向けて、何度もご家庭で相談を重ねて受験校を決めていくことになります。

来年の4月に自分の希望する高校に入学できるように勉強していくことになりますが、晴れて希望校に入学できたとします。でも、まだまだそこはゴールではない、ということをお便りにも書きました。その先、「進路選択」はまだ続きます。

私の息子の高校では、2年生から文系コースと理系コースを選択することになっています。彼は、1年の時に国語や社会(地理・歴史など)よりも数学や理科(化学や物理)のほうが興味があったので理系を選択しました。しかし、同じ数学・理科でも、文系と理系では学習する内容が大きく異なり、2年になって数学、物理、化学が急激に難しくなったのです。彼は、理系の大学受験をあきらめ、理系コースにいながら文系大学を目指しました。でも、文系大学では社会科目の中から2教科の試験を受けなければならない学校が多いのですが、彼は理系なので地理しか勉強していませんでした。彼の受験できる大学は、ほんの少しに絞られてしまいました。

このように、大学受験では、合格かどうかの前に、受験さえできないことがあるのです。私の子どもは、高校1年の時に学習内容が文系と理系でどのように変わるのか、つまり「進路について調べること」が必要でした。また、**将来の夢(希望する職業)**を持っていれば、どの分野に進むべきか考えることができたのかもしれませんが。

かといって、一度失敗したら進路が途絶えるわけではありません。夢や目標を見つけて、そこにつながる道を探していくことが最初の一步です。多少遠回りかもしれない。でも、早いうちに失敗したことがこの先よい結果に結びつくことになるかもしれない。ありがたいことに、道は何本も通っているのです。校長先生の言葉、「**過去は変えられない。しかし、未来は変えられる。**」のように、皆さんも目標を持って未来に向かって頑張ってください。



高等学校等就学支援金・ 高校生等奨学給付金について★重要!★

1学期にも進路だよりで簡単に説明しましたが、「高等学校等就学支援金・高校生等奨学給付金」についての案内が届きましたので、3年生にはこの進路だよりと一緒に配布しました。

来年度から、私立高校に通う生徒の「就学支援金」の上限額が引き上げられることになるそうです。詳細は未定のようなのですが、今までよりも多くのご家庭(年収約590万円以下の世帯)で授業料負担が軽減されることになります。

どちらも、高校入学後の手続きになります。特に、「奨学給付金」は保護者の方自らが申請することになるので、対象のご家庭は案内を確認の上、高校入学後の申請を忘れずに行ってください。